

今後の進め方

令和6年度は、第3回防まちミーティングを実施し、防まちミーティングでの意見を踏まえ、防災まちづくりの計画を作成します。計画作成後、実現に向けて事業を進めていきます。

令和5年度

令和6年度

防まちミーティング

第1回

第2回

第3回

まちの課題を共有し、
防災まちづくりの目標を考えよう！

防災まちづくりの
方向性について考えよう！

防災まちづくりの方向性をまとめよう！

防災まちづくりの計画の作成・承認

実現に向けて事業を実施

まちづくりニュースや説明会等でお知らせしていきます。



まちづくりの推進にあたっては、地域の方とまちづくりを考え、共有していく場としてまちづくりの会を立ち上げていく予定です



すでに始まっている防災まちづくりの動き

不燃化特区制度 令和7年度まで

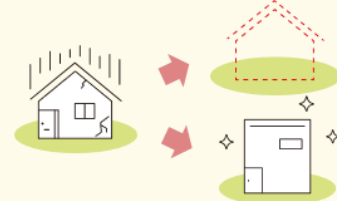
区では、災害に強い安全なまちを目指して、建物の解体や建替えに関するお悩み解決に向けた専門家派遣、住まいにまつわる様々なご相談に応じる住まいの相談会の開催、建物の解体や建替えに伴う費用の一部助成などの支援を行っています。

主な支援内容

専門家を無料で派遣

住まいの相談会の開催

解体や建替えに伴う
費用の一部を助成



CHECK

不燃化特区制度
の詳細はコチラから



【お問合せ先】

荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課 防災街づくり係 木下・前田
電話：(03) 3802-4319

荒川一・三・南千住一・五丁目地区 まちづくりニュース

令和6年3月編集発行 荒川区

南千住地区版

第2号

防災まちづくりの検討を進めています！

荒川区では、各地区で防災まちづくりを進めております。

荒川一・三・南千住一・五丁目地区は、震災時に倒壊・延焼しやすい建物が密集しており、道路が狭く消防活動が困難な区域が広がっているなど大きな被害が生じる恐れがあります。

災害に強く住みよいまちにしていくため、これまでに、アンケート調査と防災まちづくりを考えるワークショップ（防まちミーティング）を行いました。

第2号では防まちミーティングの様子をお知らせします。



▲南千住地区

防まちミーティングを開催しました！

第1回の開催概要

道路や公園・広場、防災等の現況を確認し、地区内の写真を用いながら、まちの課題や資源について意見交換しました。

開催日時：令和5年11月17日（金）19時～21時

開催場所：荒川総合スポーツセンター大小会議室

主な内容：・防災まちづくりに取り組む背景と経緯
・防まちミーティングとは
・関連計画
・防災まちづくりアンケート結果の概要
・グループワーク

参加者：13名



▲第1回の様子

第2回の開催概要

第1回でのご意見を踏まえ、防災まちづくりの方向性や整備の進め方で気になることを考えました。

開催日時：令和6年2月1日（木）19時～21時

開催場所：荒川総合スポーツセンター大小会議室

主な内容：・前回のおさらい
・防災まちづくりの方向性
・グループワーク

参加者：9名



▲第2回の様子

第1～2回防まちミーティングの内容は
P.2～3をご覧ください



防まちミーティングとは？

防まちミーティングとは、まちの課題や資源を共有し、安心なまちにするために必要な取組を話し合い、防災まちづくりの方向性を検討する会議のことです。なお、防まちミーティングは、町会・商店会の方やアンケートで参加をご希望いただいた地域の方で構成されます。

第1～2回 防まちミーティングの内容



防災上のまちの課題を出し合いました！

第1回での 主なご意見

道路

- 狭く段差がある、クランクになっている等、利用しにくい道路があり、避難で通行しやすいしつらえにも留意が必要である。
- 主要生活道路の整備は時間とお金がかかるのでよく考える必要がある。
- 建物の更新が進まずに道路の狭いままのエリアや、奥まっている道路がある。
- 取組のスピード感も気にする必要がある。 など



ご意見を基に防災まちづくりの方向性を考えました！

- 主要生活道路（幅員6m）を整備して震災時消防活動困難区域の解消を図る。また、歩行者・自転車利用者の安全を確保しながら、緊急車両や福祉・生活サービス車輛の通行の利便性の向上を図る。
- 主要生活道路の整備にあたっては、広域避難場所に至る避難路の確保など、必要性和優先度を踏まえて整備する区間を検討する。
- 狭あい道路の整備や行き止まり道路の解消を図る。
- 道路の整備は、関係権利者の理解が得られるように進める。
- 都市計画道路補助90号線（ゆいの森通り）の整備を進める。

公園 広場

- 防災活動に使える広場がほしい。
- 消防水利の確保が大事だ。
- 防災以外の視点も加えた利用されるオープンスペースであることが、ひいては防災にもつながる。 など



- オープンスペースが不足する区域を中心に、老朽建物等の解体に併せた買収により公園の整備を図る。
- 公園の整備にあたり、災害時に役立つ防火水槽等の防火設備の設置と維持管理を図る。
- 整備にあたっては、住民の意見を聞きながら、オープンスペースの多様な活用を検討する。

土地 建物 利用

- 建物同士の間隔が狭い場所が多い。
- 荒廃した空き家がみられる。
- 防災に寄与する建物への更新を進めるためのまちづくりのルール（地区計画）を導入するとよい。 など



- 今ある支援制度の周知を図り、老朽建物の建替えを促進し、建物の不燃化、耐震化を推進する。
- 隣同士の間隔など、防災まちづくりにつながる建替えにあたってのルールを検討する。
- 無接道建物については、共同建替えなどの可能性に向けた検討を支援する。
- 空き家については、所有者に適切な管理を要請、周知していく。

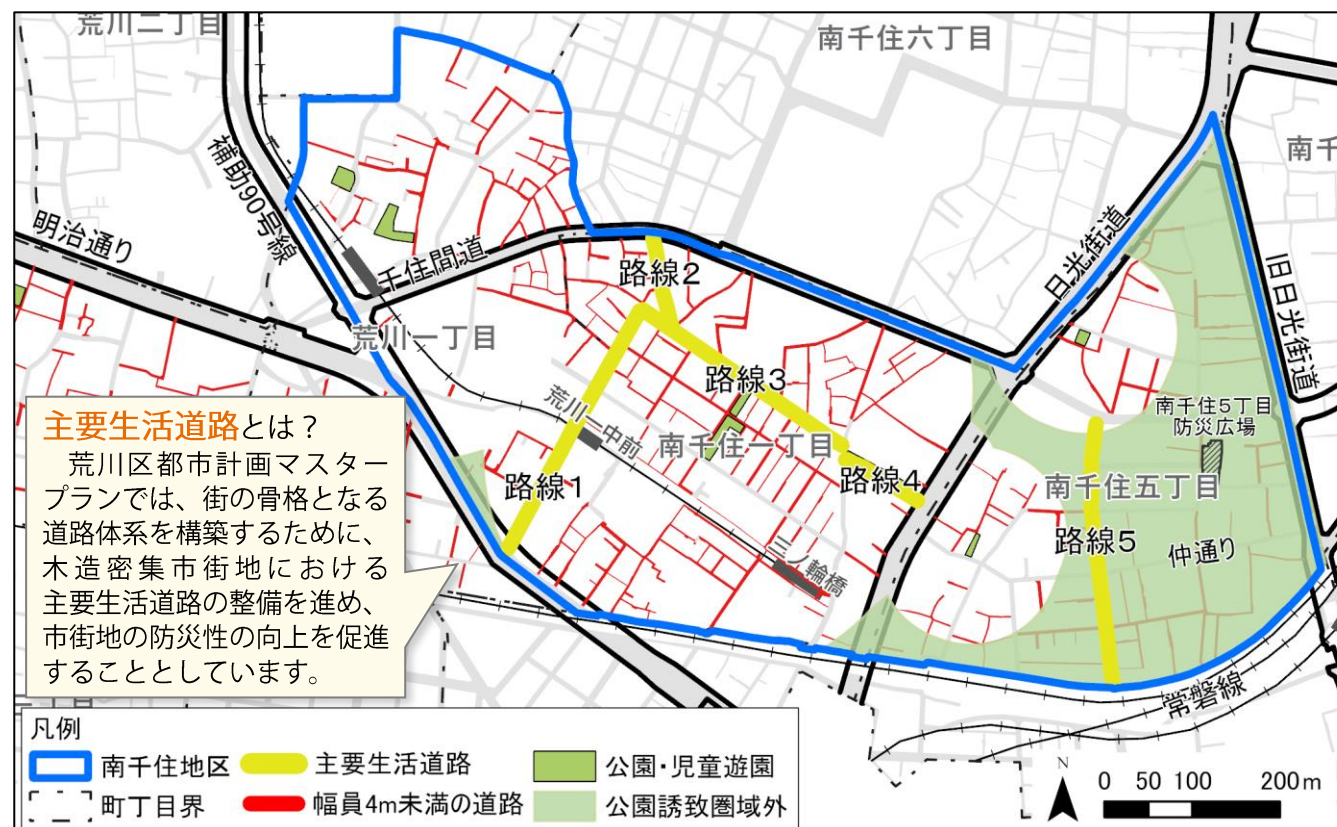
防災まちづくりの方向性について意見交換しました！ 第2回での主なご意見

道路についてのご意見

- 路線1は、現在の幅員が約5.4m～6mあるため、主要生活道路としてほぼ十分な幅員と言える。
- 路線2は、東側のマンション建設によって、敷地内に2mの空地が設けられている。
- 路線5は、拡幅しても、通称「親子ガード」（高さ制限2.5m）があるため、消防車など大型車両が通り抜けできない課題がある。
- ジョイフル三の輪商店街やヨークフーズ三ノ輪店の前の道路も重要な路線である。 など



▲主要生活道路 路線5
親子ガード▶



公園広場についてのご意見

- 仲通り付近は、公園が不足している。
- 南千住5丁目防災広場も有効なオープンスペースである。
- 新たに整備する際は、なるべく規模が大きく、防災設備が整っているとよい。 など



▲南千住5丁目防災広場

土地建物利用についてのご意見

- 商店街と住宅地の特性の違いを踏まえて、密集の改善の仕方を考える。
- 無接道などで建替えができずに困っている人に区からの支援制度を紹介していくことが大事である。 など



この他にもたくさんのご意見をいただきました！